



平成 9 年 3 月 2 8 日  
日本原子力発電株式会社

原子燃料サイクルに係るお願いについて  
(混合酸化物燃料利用および使用済燃料対策)

先日、全電力として、先般の閣議了解等で示された国の政策に則り、原子燃料サイクルの具体的な推進、特に混合酸化物燃料利用（プルサーマル）と使用済燃料対策等の推進を確認いたしておりますが、当社と致しましても、これらの課題について積極的に取り組んで参りたいと考えております。

当社は本日、福井県知事殿並びに敦賀市長殿に対して、敦賀発電所の使用済燃料貯蔵設備の増強計画の実施についてお願いいたしました。

\* 使用済燃料の発電所敷地外での貯蔵を含む長期的な対策について、国や他の電力会社と協調して検討を進めたいと考えております。

\* 敦賀発電所の使用済燃料貯蔵容量は、2000 年過ぎには逼迫するため、当面の措置として発電所内貯蔵設備を増強したい

\* 具体的には敦賀発電所 2 号機使用済燃料ラックの改造（リラッキング）を行い、貯蔵容量を敦賀発電所全体で現在の約 1.7 倍に増強したい

なお正式には、準備が整い次第速やかに、安全協定に基づく手続を進めさせて頂きたいと考えております。

プルサーマルについては、先に電気事業連合会が公表致しましたように当社としては、2000 年代初頭に 2 基で実施する方針であり、具体的には、敦賀発電所 2 号機で装荷することを念頭に置いて検討を進めて参る旨を福井県知事殿並びに敦賀市長殿にご説明し、ご理解いただけるようお願い致しました。

これらにつきましては、当社は地元の皆様のご理解、ご協力を得て進めて参る所存であります。

以上